



MURAKAZA NEZA MU RWANDA Vol.7

(Welcome to Rwanda)

JICA 海外協力隊（2022年度1次隊）
ルワンダ共和国 シンゴマ郡 ムラマセクター配属
コミュニティ開発 水の防衛隊
五十嵐貴昭

目次



※ ヤギ肉の串焼き & 甘くないバナナ
地方での定番です。

1
水が出ました！

2
銀行口座開設

3
多くの井戸はなぜ故障したまま
なのか

1. 水が出ました！

井戸の再修理を実施し、パイプの長さを調整したことで水が出ました！村人の期待に応えることができて、本当に良かったです。

これまでの井戸修理は（私の経験では）、修理が完了しても村人の反応は薄いことが多かったことから、修理後は安心感のみ感じていました。しかし、この村では井戸修理を終え水が出る瞬間に、子供達がとても喜んでくれたことで、「国際協力のやりがい」を初めて実感することができました。

（水が出る瞬間の動画を撮影しているので、どこかの機会でお見せできればと思っています。）



※ 水が出た瞬間

2. 銀行口座開設

カボザ村にて集金後(7,000RWF=約850円)、銀行口座の開設を行いました。毎月集金する井戸使用料を安全に管理をするための口座です。ルワンダのある水委員会が、集金した莫大な金額を持ち逃げするトラブルが過去にあったことから、可能であれば資金の管理先は銀行口座が良いとされています。

毎月の集金が継続され、ハンドポンプの維持管理が改善されることを願います。



※ 口座開設の手続き



※ 開設後に撮影

3. 多くの井戸はなぜ故障したままなのか

「なぜ多くの井戸は故障したまま放置されているのか」活動を通して疑問に感じていました。井戸が故障しているにもかかわらず、村人は修理のために何か行動を起こしていた様子也没有ありません。しかし、村会議で修理の希望を伺うと井戸を修理したいという意見が大多数でした。

そこで、壊れた井戸が放置される原因について、JICAが実施した調査によると、「井戸が壊れた際にどのような行動をとればよいのかわからない」と回答する割合が高かったとのこと。さらに、私の活動を通して「対応方法(修理人の連絡先)を把握はしているが、何らかの心理的要因で報告しない」ことが散見されました。

以上のことから「井戸故障時の対応方法の不知」「故障報告を妨げている心理的要因」の2点を同時に解決することで、井戸故障時に住民から報告をいただくことができ、迅速な井戸修理が可能となることから、ハンドポンプの維持管理体制を大きく改善できると考えました。



※ 故障後放置された井戸①



※ 故障後放置された井戸②